

C O N T E N T	
ORD特別講演会	1~2
ORDセミナー(パネルディスカッション)	2~3
製品開発委員会「日帰り研修レポート」	4~5
技術促進委員会「一泊研修レポート」	5~6
会員の活動紹介	6~7
事務局からのお知らせ	7~8

編集：企画広報部会 事務局：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1丁目10番25号(奥野製薬工業(株) 企画開発部内)
TEL 06-6961-0886 FAX 06-6963-0740 E-mail info@ord.gr.jp URL http://www.ord.gr.jp

ORD特別講演会

笑いはたっぷり、商売はしっかり

日時 2011年11月17日木曜日
場所 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
講師 桂文喬師匠(上方落語協会理事、吉本興業)

講演会

ORDが主催する特別講演会は、直近の講演会が今年2月14日で住友金属工業(株)友野社長をお呼びできたように、近年産業界の大物経営者による講演が続いている。これはひとえにORDメンバーが多士済々で、その人脈のお陰でORDの誇りである。今回はがらりと趣向が変わり、製品開発委員会の藤川委員長から畑違いの落語家の提案があったのを、企画広報部会で討議した結果、少し戸惑いながらも11月17日の桂文喬師匠の講演会が実現した。それは師匠が並みの落語家ではなく、講演会



案内状にも記載されているように、教育評論家・環境省3R推進マイスターなる落語家としては考えられない肩書をお持ちで、師匠の講演の主題は、環境、健康、男女共同参画、教育など社会派タイトルであり、年間200回以上講演されているからである。師匠は神戸市出身で大阪府大・経済学部を卒業されている。府大経済学部と言えばピンと来るのが、今年6月10日に同じグランキューブ大阪で開催された、我がODRの総会であり、そこで特別講演をお願いした府大の経済学部長の山本浩二教授である。桂文喬師匠は山本学部長の生徒でもあったのである。師匠の講演は1時間半に及んだ。落語の持ち時間は通常は15分から50分とのことなので、プロの噺家としてもかなりの長丁場である。それを原稿なしで乗り切るのはさすがプロだと思わせた。その上に場の雰囲気の中で途中で適当に話題を見付けて、時間を稼ぐコツを教えて貰った。



開会の挨拶を述べる奥野ORD代表幹事

懇親会

講演の後はグランキューブ大阪の中のグラントックで懇親会を持ち、多くの方々にご参加頂いた。師匠も懇親会に参列頂き、色紙をおねだりしていたところ、写真にあるように多くの直筆の色紙を頂き花を添えて頂いた。皆さん、頂いた色紙は大切にしてください。



桂文喬師匠直筆の色紙を手にしてご満悦の橋本社長／(株)ビーテック。



右から;三浦専務／柏原計器工業(株)、藤本特許事務所・亀井さんと藤本所長。



「えー私めも一席!」と懇親会挨拶に立つ 松浦企画広報部会長／ラミネート工業社長



師匠の紹介者の藤川委員長／FBJ JAPAN専務;左と桂文喬師匠;中央。右:藤本弁理士。

菊池清 (記)／セン特殊光源 (株)

ORDセミナー(パネルディスカッション)

「中国を中心とした東南アジアのビジネスリスクとその対策」

グランキューブ大阪(大阪国際会議場)に於いて、平成23年10月5日「中国を中心とした東南アジアのビジネスリスクとその対策」としてパネルディスカッションを行いました。

パネリストとして、中国特許事情の専門家として

藤本昇特許事務所所長 弁護士 藤本昇先生
国際契約における解決には、重要な役割を担う

(社)日本商事仲裁協会理事 大貫雅晴氏
また、元商社でご活躍され、その実績を踏まえた
大阪府商工労働部

アジア統括マネージャー 小堤敏郎氏
そして、ここ数年海外取引を飛躍的に拡大された

ORD会員企業で幹事である

セン特殊光源(株) 菊池清社長の各氏にパネラーとして務めて頂きました。

パネルディスカッションの前に、各パネリストの先生方に問題提起をして頂きました。

まず、大阪府の小堤先生よりの問題提起として
※さまざまなリスクが存在する、宗教・民族・政治・法律・社会等

具体例 インド…女性のベールを取ってはいけない

インドネシア…「頭をなでる」は失礼
中国・韓国…高齢化社会に入っている



特に中国では、法律は特定機関に解釈権がある
レアース規制・人民元の切り下げ・鳥インフルエンザ・SARS

リスクの最小化及びリスクヘッジが重要

人・物・金、特に人材育成…現地人に任せる

次に企業の代表として、菊池社長よりの問題提起

- ・日本国内のコスト高
- ・新興国の技術レベルの向上、且つ安価
- ・企業側の不安として
 - 中国への知財権
 - 海外トラブルによる裁判
 - 契約書文面及び裁判地

そして、国際契約における問題提起と致しまして、大貫先生により契約についての説明として、

※海外契約は多岐にわたる

国際取引と海外における国内取引

国際取引＝グローバルスタンダード

海外における国内取引＝現地のルール

契約書の役割及び手順

- ①交渉が終わった後に契約書の作成＝証拠価値
- ②契約書は解決手段
- ③どの国の法律を順守するのか（使うのか）？但し
準拠法は、当事者の合意があれば自由に決められる
- ④仲裁…当事者間で非公開
訴訟…国家機関において公開

しかし、契約書に仲裁条項を入れると裁判ができない
最後に、特許等に関し、藤本先生より問題提起して頂きました。

※アジア等を含む新興国の特許出願が増えている

特に中国は世界第2位の出願件数



しかし、中身に問題が？

- ・日本の特許切れ⇒中国に技術指導⇒それに伴う
図面＝実用新案（無審査）
 - ・ブランド⇒写真にとる⇒商標登録
- 対策として、特許等の予防の武器がいる
それでもトラブルれば、人的ネットワーク＝いい中国の代理人が必要

そして、各先生方の問題提起により、パネルディスカッションを進めて参りました。

ポイントとして、

1. 契約書は英文1本で行う
中文を作成すると中文が独り歩きをする
2. 特許取得は必要不可欠。そして、特許文書は特殊であるため、優秀な中国人メンバーが必要
3. 優秀なメンバーを採用するためには、大学との良好な連携が必要
4. 採用にあたり、会社の理念・制度は働く人の判断基準となり、就業規則・使用規則の明文化並びに説明が必要
5. MOU締結には、法的な根拠を入れる
不誠実な場合には損害賠償を請求される

まだまだたくさんのご意見を頂きましたが、紙面の関係上、割愛させていただきますが、事務局ではDVDを作成し、会員の皆様には貸出させていただきますので、どんどんと事務局までお申込み下さい。

最後になりましたが、各先生方にはご多忙にも関わりませず、最後の懇親会までご参加いただきました事を深くお礼申し上げます。そして、このパネルディスカッションが、皆様のご期待に添えることができたのか、今でも自問自答しております。今後とも、ORDの活動にご理解・ご協力よろしくお願い申し上げます。
(コーディネーターを務めさせて頂きました松浦 勲（記）／ラミネート工業（株））



製品開発委員会「日帰り研修」レポート

●日 時：2011年9月14日

●訪問先：三精輸送機(株)神戸事業所、キリンビール神戸工場

製品開発委員会第3回例会行事概要

日 時：2011年9月14日(水)
 参加人員：11名
 交通手段：日本交通バス(チャーター)
 行 程：
 10:30 出発「旧大阪中央郵便局」
 12:00 到着「キリンビール神戸工場」
 昼食「同上 丘の上レストラン」
 13:00 到着 三精輸送機(株) 神戸事業所
 15:05 出発 同上
 15:10 到着「キリンビール神戸工場」
 15:10～16:30 同上見学
 18:00 「旧大阪中央郵便局」前にて解散

三精輸送機株式会社 神戸事業所

所在地：神戸市北区赤松台2-3-1
 電 話：078-983-4800
 製 品：舞台機構、昇降機、遊戯機械
 業務開始：2008年5月
 敷地面積：約156,300㎡
 工場棟 約14,400㎡
 事務所棟 約2,200㎡
 研究棟 約700㎡
 その他 約80㎡
 大阪本社：電話 06-6385-5621
 資本金：32億5,100万円
 URL : <http://www.sanseiyusoki.com/>

例年9月に開催される第3回製品開発委員会は、日帰り研修が恒例である。今年は藤川委員長が提案された三精輸送機(株)神戸事業所とそこからバスで1分という近いところにあるキリンビール工場を、見学と研修を兼ねて訪問した。三精輸送機(株)は名前から受ける印象は、通運関係の輸送機などを作る会社と思われるが、実際は舞台機構、昇降機、遊戯機械を製作し、その保守管理をされている、伝統があり広く国内の行楽・文化施設で活躍されている。



写真1. 会議室で説明頂いた、左:淀川専務(管理統括)、右:江部常務(技術統括)

午後1時に三精輸送機(株)神戸事業所に到着すると、直ぐに事務所棟の会議室に案内された。ORD製品開発委員会の11名を迎えて下さったのは、写真1の淀川専務と技術統括の江部常務である。はじめに



写真2. 神戸事業所・事務所棟の正面玄関。三精社標を取込むと、建物が高いため人物の顔が小さくなって判別できなくなった。

訪問者全員が自己紹介を行い、それからご両名から三精輸送機の事業概要の説明を受けた。11名の自己紹介者全員の顔写真を掲載するスペースがないので、写真3に藤川委員長を含む3名のみを紹介す



写真3.三精輸送機の会議室で自己紹介する、左から藤川FBJ JAPAN専務、岡崎ネクスタ社長、神崎ユニケミカル社長。

る。三精輸送機は遊戯機械や舞台機構の分野では国内トップの企業で、最大の得意先は東京ディズニーである。舞台機構はほとんどの有名舞台、新しい上本町の新歌舞伎座やオペラの滋賀県立琵琶湖ホールなどに入っている。舞台研究棟の高さは、どんなオペラ舞台のセットや幕も納められる30メートルの高さがあり、全製品は吊物機構で実地に吊るして試験してから出荷する。吊物機構の最上部に上がらせてもらったが、その高さは並みのものではなかった。写真で紹介できればその凄さを伝えられたが、三精輸

送機の製品は、得意先がユニークで製品もユニークなものなので、機密が多く残念ながら工場内の撮影の許可は得られなかった。最後は事務所棟の前で全員の集合写真を撮って(写真1)三精輸送機神戸事業所を後にした。

次の見学先のキリンビール神戸工場は、バスに乗って時間はたったの1分と近い。皆様お見通しのように、こちらの見学は研修と言うより、記事下のキリンビールにおける2枚の写真が示すように、行楽の趣が強かったが、結構色々勉強になりました。キリンビールの工場は清潔で広く、生産規模も馬鹿でかい。しかし作っているのは単一品種。「我々の方が多品種で技術のいる製品を作っているよなあ」と自画自賛する声があった。

今日は、一日中すこぶる付きの快晴で、日頃行楽地や舞台でお世話になっている企業で、馴染みがありながら初めての機構を学び、ほとんど毎日お世話になっているビールの旨さを、メンバーで堪能して大満足の1日であった。

菊池清(記) / セン特殊光源(株)



技術促進委員会「一泊研修」レポート

- 日 時：2011年10月21日(金)～22日(土)
- 訪問先：北陸新幹線第二建設局

今年の一泊研修は、秋空の中、総勢15名にて大阪駅前よりバスにて出発し、初日に北陸新幹線第二建設局を訪問し、宇奈月温泉に宿泊、2日目に黒部峡谷を散策いたしました。

「北陸新幹線第二建設局を訪問」と上記には記しましたが、簡単に言うと北陸新幹線の富山駅周辺の

高架橋工事現場を見学させていただいたということです。正式には、発注者が「独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道建設本部 北陸新幹線第二建設局」となり、施工者が「鹿島・佐藤・大鉄・日本海建興 特定建設工事共同企業体 富山駅高架橋JV工事事務所」となります。これだけで国の仕事がいかに大変か想像出来ようというものです。

案内をしていただいたのは事務所所長の高嶋様で、ここに来られる前は中近東でお仕事をされていたとので(上記施工者側のゼネコンに所属)、お忙しいにもかかわらず、実に気さくに対応していただきました。スライドにて工事の概要をご説明していただいた後、用意していただいたヘルメット、軍手、安全服、長靴を着用し、工事現場へと向かいました。こういった工事現場見学の場合、ある程度の離れた距離から現場を見ながら説明していただくのが通常ですが、高嶋様はヘルメットと長靴を借りていて良かったなあ、といったところまで、どんどん入って案内して下さいました。実際、ヘルメットがなければ何人かはタンコブを作り、長靴がなければ皆のズボンの裾はドロドロになっていたでしょう。



北陸新幹線工事は、現在の長野新幹線の延長で(長野新幹線は本来、北陸新幹線の一部)、長野-上越-富山-金沢-福井を経由し、大阪に至る延長約600kmの路線です。今回見学させていただいた富山駅周辺工事は平成22年4月から始まり平成24年9月に完了予定です。なぜこんなに長く掛かるかという点と既にある在来線を止めずに新幹線と在来線の高架橋工事を進めなければならないためのようです。こういった大型の工事は何も無いところを一から造る方が遥かに早く簡単に出来ると思われれます。

その他、事務所内に作業員の方々が作られた(仕事に関しての)俳句が掲示されてあったり、作業前の一風変わった準備運動(地元テレビで取り上げられたとのこと)等、随所に長丁場の工事をいかに安全



に終えるかの工夫があり大変参考になりました。ご参考までに掲示してあった俳句を一つ紹介いたします。「やったつもり、見たつもり、「つもり」積もれば、事故の元」

「コンクリートから人へ」という言葉がありますが、こういった大型案件を見学すると一概に公共事業を否定できないなあ、という感を強く持ちました。

その後、黒部峡谷方面へと向かい、宇奈月温泉郷にて一泊しました。皆、温泉とおいしい料理に舌鼓を打ちながら、長距離バスの疲れを癒したのは言うまでもありません。



2日目は、9時過ぎに宇奈月駅よりトロッコ列車に乗り、樺平へと向かいました。残念ながら、紅葉には少し早かったものの雨天の予報にもかかわらず傘を使わずに済み、雄大な黒部



峡谷の景色を堪能いたしました。また一方で車中の案内放送を聞きながら当時の苦勞と技術に感心し、ここでもまた公共事業の意義について考えさせられ



ました。偶然ではありますが、今回の研修は大型の公共事業の意義について考えさせる研修会となりました。

最後に、お忙しい中、北陸新幹線第二建設局 高嶋所長様、浅野課長様をはじめ、ご対応していただきました皆様様に感謝いたしますと共に、ますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

伊場田晶/旭テック(株)(記)

会員企業ご出展の展示会報告

第37回事業化マッチング展

平成23年9月1日 大阪産業創造館

大阪府異業種グループ交流促進協会の主催による「国際競争力のある付加価値な製品を数社の連携体を構築する」をテーマに開催された「第37回事業化マッチング展」に出席し関西一円からの参加企業五社にORD各会員の紹介・PRを行ってきました。

事務局 記



経営革新セミナーに参加してきました。

「楽しいことしまへんか?」<大阪産業に恋します>

～元気なヒケツは、ヒト・モノ・カネとちょっとの工夫～

と題した大阪府将校労働部経営支援課新事業創造グループ主催の経営革新セミナーに9月6日に当会幹事の新和商事(株)の森下社長と参加してきました。

日本一明るい経済新聞社の編集長 竹原信夫氏 近畿刃物工業(株) 阿形清信氏の講演で対談(竹原氏のツッコミ?)で話が進み、笑いの中にも要所を占めるお話でした。ORDでもお呼びしたいですね。

事務局 記



サイエンスエキスポ関西2011 粉体工業展大阪

平成23年10月19日 インテックス大阪にて「サイエンスエキスポ関西2011」と「粉体工業展大阪」が開催され当会からは、(株)三ツワフロンテックとフジキン(株)の二社がサイエンスエキスポに、山本工学(株)が粉体工業展に出展されてお



られました。又サイエンスエキスポに於いて促進協メンバーのニューファクトリー開発協会 木村理事長より多数のベンチャー企業の紹介を受けました。

事務局 記



第38回事業化交流マッチング展



平成23年11月9日-10日にマイドームおおさか似て大阪府異業種グループ交流促進協会主催の「第38回事業化交流マッチング展」が開かれました。



例年と同じく東大阪商工会議所主催「テクノメッセ東大阪2011」、船場経済倶楽部主催「まいどおおきに博」との同時開催で開かれました。今年は、大阪金物卸商共同組合連合会主催の「ハウス&リビングショー」とも共催になり4団体での総合展示商談会となり2万人近い来客がありました。

当会からは、マッチング展に(株)友電舎、サンユレック(株)の両社、テクノメッセには山本工学(株)、大阪真空化学(株)の両社が出展されていました。

オープニングには、促進協会長、ORD相談役の秋山千尋氏が挨拶に立たれ、来賓には当会顧問の大阪府商工労働部経営支援課の棗課長様も臨席されてのテープカットでした。 事務局 記



第2回鉄道展



今年で第2回目となる鉄道技術展が幕張メッセで平成23年11月9-11の三日間開催され、当会からは大信機器(株)と(株)昭電の2社が出展されました。大阪からわざわざ見に行かれた会員もおられたと聞いています。

事務局 記

大阪府立産業技術総合研究所 研究発表会



さる11月15日に大阪府立産業技術総合研究所の研究発表会が開催されました。当会と産技総研は、ORD設立以来から親密な関係があり、現在の産技総研のこけら落としにもORDで見学した思い出があります。それ以来何度か訪れていますが「研究発表会」への参加は初めてでした。

現在ORDは、産技総研と大阪府立大学との包括連携委員会に外部審査委員として参画しており、ORD会員も積極的に産技総研との連携を進めて頂きたいと思っております。

事務局 記

事務局からのお知らせ

講演会のお知らせ

ORD特別講演会の日程が決まりました。

演題
「JAXAにおける飛行実証技術」

講師 宇宙航空研究開発機構(JAXA)機構開発本部
飛行機技術研究センター長 柳原正明氏

日程 平成24年2月20日(月)15時より

場所 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)12階

懇親会 大阪国際会議場(グラントック)12階